

神郷校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成21年8月10日(月) 19:00~21:00
場 所 神郷公民館
参加者数 男 73人 女 7人 合計 80人



○これからの10年のまちづくりに向けての提言

提言内容：スポーツの振興、総合健康運動公園構想の実現について

1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名（1 ごみステーションの維持管理と分別収集について）

討議内容

- ・ごみの分別の変更が度重なり理解するのが困難である。住民にどう周知を図るのか。
- ・分別の間違いによる未回収は役員が対応しているが、大変なので回収できないか。
- ・自治会によるごみステーションの管理には限界がある。勝手に置かれたごみについて配慮してほしい。また、不法投棄の扱いも含めて見解を伺いたい。
- ・ステーション方式から戸別収集への変更の見通しと高齢者等への対応はどうか？

市長回答

- ・市の取り組みを説明
- ・昨年はごみ有料化の説明を行ったが、十分理解していただけなかった地区もあり、まずは、ごみの減量化に取り組むこととしている。
- ・地球温暖化に伴い私たちの暮らしを変えていく必要がある。

- ・平成 23 年には環境自治体会議を新居浜で開催する予定です。
- ・今年度から始めたレジ袋の取り組みは 9 割の方がマイバッグを持っています。

環境部長補足

- ・法律が変わり、ごみ処理は事業者責任で処理するようになりました。
- ・収集は市で、容器は製造者責任です。
- ・収集後のごみの行き先が違うので、細かく分別すると処理が容易になります。
- ・分別については、市政だよりでの特集等、随時取り組みを行うほか、CATV、宅建協会にもお願いしています。また、カレンダーを 8 月中に配布予定です。
- ・積み残しで多いのは雑ごみや小型破碎ごみです。分別の変更でこの 2 つは同じ分別になるので減ると思います。また、積み残しごみは連絡いただければ取りに伺います。積み残しを無くすことは分別なくなる恐れもありますので、ご協力をお願いします。
- ・不法投棄について
基本的に市内 400 箇所のごみステーションを自治会に委託しておりまして、今後とも協力をお願いしたいと思います。
不法投棄については、警察と協力しながら罰金等に組みたいと思います。
- ・戸別収集については、高齢者への対応や障がい者の程度により考えておりまして、今後検討していきたいと考えています。

※再質問

・〈質問〉ビンについて

高齢者等は今の分別によろやく慣れてきたところなので、3 種類に分かれると分別が心配である。

・〈回答〉環境部長

西条市でもできていますので、最初はとまどいもあると思いますが、ご協力をお願いします。

・その他補足意見

他市に居住していたとき、同様のことがあったが、心配することはない。

2. 校区設定市政課題

課題名（2 ごみ焼却炉の撤去について）

討議内容

- ・神郷公民館の焼却炉が撤去されていない。撤去時期は？

市長回答

- ・市内公民館では5つ残っています。
- ・今年度中は難しいので来年度以降で検討させていただきたい。

課題名（3 太陽光発電について）

討議内容

- ・神郷小学校、川東中学校の設置状況と今後の予定は？

市長回答

- ・神郷小学校は今年度～来年度で耐震工事を行うこととしており、太陽光パネルは10kwのものを西棟に来年度の夏休み終了までに設置する予定です。
- ・川東中学校は大規模改造工事を来年度に実施することとしており、太陽光パネルについても10kwのものを来年度末までに設置する予定です。両方とも来年度になります。

課題名（4 環境保全基金について）

- ・環境保全基金を設置し環境保全に取り組む考えはないか？

市長回答

- ・基金があれば計画的に取り組むことが出来るので、今後検討を行いたい。

3. 地域課題

課題名（浸水対策について）

質疑応答

①松神子地区浸水対策について

従来、松神子地区は大雨のたびに道路の冠水や住宅の浸水が繰り返されている。旧来の細い排水路に頼るのみで、雨水排水施設の改善はなされていない。周辺と比較しても明らかに遅れている。松神子自治会では、浸水対策会を立ち上げた。地域住民に見える形で行政の対応をして貰いたい。今後の具体策を聞きたい。

②下水道計画の見通しについて

神郷校区での下水道整備も行われているが、人口集中地区でありながら校区のほとんど

の区域が下水道認可区域に含まれていない。認可区域の条件、範囲についての考え方、今後の見通しについて伺いたい。雨水対策としても、早期に神郷校区全体を公共下水道認可区域に拡大し、下水道整備を進めていただきたい。

市長回答

②まず、認可区域についてですが、この区域に入っていないと国から補助が出ません。

公共下水道の次回認可変更につきましては平成 23 年度を予定しておりますが、認可区域の拡大につきましては関係機関との協議を行っておりませんので、まだ具体的な段階ではありません。

認可区域として新たに区域を追加する場合、認可期間の 5 年から 7 年の間に整備できる面積が目安となりますことから、区域編入の要望がある地区を全て追加することはむしろ難しいことが予想されますので、人口集中地区や幹線整備が行われている地区など投資効果の高い地区から選定する予定としています。

雨水については浸水被害の有無も参考にしつつ、現状、実績を考慮して検討します。

これまでとは水田の保水能力、雨の降り方が違ってきています。そのため、雨水管や雨水施設の設置の前提も変わってきているため、改善していかなければならない。

環境部総括次長補足

①松神子地区の浸水対策としては、松神子雨水ポンプ場へ雨水排水を流入させる松神子雨水幹線の整備を進めており、平成 20 年度末までに県道壬生川新居浜野田線の JR 多喜浜駅入り口西側までの整備が完了しています。この整備により、県道南側からの雨水流入を直接雨水幹線に流入するように取り込みましたので、間接的ではありますが、松神子地区内の排水路で排水能力の向上が図られたと考えております。

今後の整備計画といたしましては、平成 21 年度に雨水幹線への流入箇所を新たに 2 箇所追加し、排水能力の向上を図ります。また JR 多喜浜駅より西側で落神川までの区域におきまして、現在雨水整備可能な施設について検討するため設計コンサルタントに委託を行っており、その結果を踏まえた整備計画に基づき雨水施設の整備を行うように予定しています。今後も既存排水施設の適切な管理を含めて浸水対策を実施し、浸水被害の軽減を図ります。

課題名（ 長岩遊水池の浚渫と外海への排水ポンプの設置について ）

質疑応答

江の口、松神子、松神子団地では床上浸水が3回起きている。

昨年も要望したが、堆積土砂の除去は進んでいない。落神川から土砂が流れ込んでおり、今年も樋門付近を少量除去しただけで排水断面が閉塞している。この程度の対応では大雨のときに不安である。県管理とのことであるが、一体どのような対応をしているのか。早急に対策してほしい。加えて、落神川には雑草のみならず樹木まで生えている。撤去をお願いしたい。

また、江の口雨水ポンプ場の吐き出し先は遊水池である。外海に直接排水しないと雨水が循環するのみで、排水した水が堤防を越えて逆流し、3地区だけでなく田の上まで浸水する恐れがある。堆積土砂の除去と合わせて外海への排水ポンプ設置等雨水対策を進めてほしい。

排水ポンプ場の排水管を外海まで延長できないか？

市長回答

この件は垣生の校区集会でも意見をいただいております。

排水ポンプの設置についてですが、この遊水池には、江の口ポンプ場からの排水と落神川からの流入があり、この二つを合わせた流入量を排水するポンプ場を作ることは、単純に考えても2倍の費用を要すること、また、ポンプ稼働時の漁船への影響等を考慮すれば、現実的には困難な状況です。また、管を伸ばすのは1つの提案ですが、排水能力にも影響が出るとお思いますので、シミュレーションして取り組みをしてみたいと思います。

環境部総括次長補足

遊水池の堆積土砂の撤去につきましては、昨年度、県において、落神川河口から遊水池へ流れ込む流路部分について一部の土砂を撤去していただきました。

今年度も、年度当初に改めて要望しておりますが、今後も、現地の状況を注視しながら、引き続き県へ要望します。また、落神川の草木撤去についても、合わせて県へ要望します。

県においては、落神川護岸の嵩上げ等対策を講じていただいておりますが、平成16年の16号台風時に最大高潮面もそれまでの+4.52mから+4.66mにあがったことから、まず、遊水池堤防の嵩上げを実施する方向で県と協議を行い、引き続き検討します。

※再検討事項

ポンプ場排水管を外海まで延長した場合の効果、影響等を検討し、シミュレーションすること

課題名（ 神郷校区の公園整備について ）

質疑応答

昨年の校区集会で場所を提案した。

市長回答では、規模、整備手法、財源について検討することであるが、1年経過し、その後どうなったのか進捗状況を報告してほしい。

また、6月議会で川東公園の場所について質問があったが、市長答弁では川東全体を対象に必要性が高いところで考えるとのことであった。

これまでの地元要望や校区集会では、神郷校区に公園が必要であることは市長自ら回答している。神郷校区の今後の公園整備の方針について説明してほしい。

市長回答

公には川東公園となっています。地区内には黒島海浜公園、マリンパーク、松の木公園、国領川緑地がありますが、神郷校区は公園の空白地域です。

公園整備は、当然、市民や市議会等の合意を得ていく必要があります。

厳しい財政状況の中なので、用地を買収して事業を実施していくためには、国庫補助対象事業として財源を確保することが必要と考えております。

財源としては、公園の上物は1/2、土地は1/3の補助がありますが、面積が2ha以上、防災公園としての機能が必要などの条件があり、ご提案箇所はこれらの要件を満たしておりません。現在他の場所での可能性についてや他の財源確保の方法についても検討をいたしておりますが具体的な場所を提示できるところまで至っておりません。しかしながら借地方式であれば国庫補助を受けられなくても積極的に整備に取り組みたいと考えております。場所も視察し、提案もいただいたので、個別の検討をしていきたいと思っております。

※再検討事項

整備校区、整備場所、規模、整備手法、財源等について検討を行う。

課題名（交通安全対策と信号機の設置について）

質疑応答

県道多喜浜泉川線については今年度末に完成することであるが、道路の整備が進んだことにより、通行車両のスピードが上がり、かつ、台数もかなり増加している。県道を横断する箇所については、横断歩道の表示はあるが、信号機が設置されていないので、このままでは高齢者や児童などの交通事故の増加が懸念される。

特に、下郷地区の横断歩道に信号機を設置してほしい。

また、又野川の西側、県道壬生川新居浜野田線の北側にマックスバリューが出店することにより、同様に県道を横断することが増加すると思われ、交通事故の増加が懸念される。このため、又野川西側の泉石油前の横断歩道にも信号機を設置してほしい。

市長回答

マルヨシセンター前、木村チェーン川東店前には信号機がつけました。

信号機は警察の管轄ですので、市から新居浜警察署に設置要望書を提出し、要望書は既に愛媛県警察本部交通規制課に上申されておりますが、公安委員会にはまだかかっていないので、いつ設置できるかは未定です。

また、又野川西側の泉石油前につきましては、新居浜警察署交通課と協議した結果、西側 150mの交差点に信号機があり、現在はマックスバリュの建設工事はまだ開始されていないため、現時点では要望しても優先順位は低いとのことでありました。

マックスバリュについては、9月に建築審査会が開催予定であり、今後、手続きが進んでいくと思いますが、具体的な工事の予定は未定です。

信号機の設置には、道路管理者である市の要望とともに地域の方々の要望も非常に重要でありますので、今後の状況を見ながら要望したいと思います。